

各都道府県ならびに政令指定都市エイズ対策担当課長 御中

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」研究分担者
九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野
平賀 紀行

各地域での HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者・エイズ(後天性免疫不全症候群)患者に関する動向調査情報ならびに施策実施状況等に関する調査のお願い

【本研究の目的】

- ・ HIV 感染者・エイズ患者(以下、HIV 陽性者等という。)が全国平均より多く報告されている都道府県等(以下、重点都道府県等という。)の実施する施策について、各地域での発生動向、現状施策を横断的にモニタリングのうえ、各地域で取り組む効果的な施策等を各自治体間や関連団体等で共有し、各地域におけるエイズ対策の推進を図ることを目的としております。
- ・ なお、本研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」(研究代表者:四本美保子 東京医科大学臨床検査医学分野)の分担研究である「HIV 感染者・エイズ患者の集中する地方自治体における HIV 対策の横断的モニタリングと施策推進に関する研究」(研究分担者:平賀紀行)において実施されます。

【本研究により期待される効果】

- ・ 日本における HIV 感染は、これまでの東京を中心とする関東地域に加え近畿、東海ほか地方都市においても感染の拡大が認められております。
- ・ 近年、治療薬の開発が進み、早期に服薬治療を開始できればエイズを発症することなく通常の生活を送ることが可能となってきた一方、長期療養化に伴い、HIV 陽性者へのいわれのない差別・偏見等を背景とする医療施設等への患者受け入れ拒否といった課題も多く認められております。
- ・ 自身や周囲への感染を予防し、かつ、いわれのない差別や偏見をなくすためにも、エイズや HIV 感染症に関する正確な情報を知ることは当然であり、個人における対策もさることながら行政が行う対策を充実させていくことが重要です。
- ・ エイズ予防指針第七には地方自治体の実施する施策のモニタリングと評価の重要性が明記されておりますが、本研究はその趣旨に則り、重点都道府県等より収集される動向調査報告ならびに各地域における施策情報等を収集・分析し、日本を3地区に分けた各地区における地区別重点都道府県会議を開催・意見交換を

行い、その結果、各地域のエイズ施策を推進し、厚生労働省所管課に対する施策提言に資する研究となるものと考えられます。

【本研究における調査内容】

本研究における調査内容は、以下の3項目により成り立っております。

➤ モニタリング項目 1

- ・ HIV感染者・エイズ患者新規報告数(2022年～2024年)・国勢調査人口(直近のみ)(都道府県の報告数はエイズ動向委員会で公表済みのものを使用します。政令指定都市等の報告数について調査を希望します)
- ・ HIV検査件数:平日・夜間・休日・迅速・郵送(2022年～2024年:それぞれの検査件数ならびに陽性件数)
- ・ エイズ対策に係る計画:策定の有無、有であればその資料(直近のみ)
- ・ エイズ対策推進協議会:開催の有無、有であればその資料(直近のみ)

➤ モニタリング項目 2

- ・ 普及啓発および教育についての課題と対応策(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)(直近のみ)
- ・ 検査相談体制についての課題と対応策(直近のみ)
- ・ 医療提供体制について課題と対応策(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)(直近のみ)
- ・ 地域特有の課題とそれに対する対応策

➤ モニタリング項目 3

- ・ エイズ対策推進事業実績額(普及啓発および教育、医療提供体制の再構築)(直近3年間)
- ・ 特定感染症検査等事業実績額(保健所等におけるHIV検査・相談事業)(直近3年間)
- ・ これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方
- ・ エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄

【本研究への参加の可否ならびに情報の公開について】

本研究に得られた調査結果等の資料は、個人情報保護等に支障がない範囲で公開することにより、今後のエイズ施策推進ならびに後続研究の質の向上に貢献したいと考えております。よって、本研究への参加に関しその諾否をご選択いただき、諾と

してご参加いただける場合は、提出いただく各資料を公開可能な資料としてご準備いただくよう、ご留意をよろしくお願いいたします。

各資料の閲覧を希望される方は、本研究班事務局宛にご連絡いただくか、以下のホームページにおいて順次公開資料として掲載しますので、当該ホームページをご参照のほどよろしくお願いいたします。

名称:HIV 陽性者の集中する地方自治体における HIV 対策の横断的モニタリングと施策推進に関する研究

URL : <https://hiv-ppr.jp/topic-hiraga.htm>

【本研究の情報の二次利用について】

本研究に得られた調査結果等の資料は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、同意がいただけるならば、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えております。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

以上、各項目の調査をお願いすることにより、通常業務を多忙にさせることは十分存じ上げておりますが、上記の趣旨を鑑み、本調査にご協力いただけましたら幸いです。重ね重ねどうぞよろしくお願い申し上げます。

【連絡先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL:092-642-5603 FAX:092-642-5618

E-mail: hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp

重点都道府県等調査票

都道府県市名：岡山市

本研究への参加に同意する … 諾 ・ 否

※参加いただける場合には「諾」を○で囲み、以下の調査にご回答をお願いします。
参加が困難である場合には「否」を○で囲み、以下に回答されることなく本研究班事務局に本調査票をご返送ください。

本研究以外での情報の利用について … 諾 ・ 否

※提供する情報が将来新たに計画・実施される医学研究に、倫理審査委員会の新たな承認の後、使用されることに同意いただける場合は「諾」を○で囲んでください。

【返送先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL:092-642-5603 FAX:092-642-5618

E-mail: hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp

【モニタリング項目 1】

HIV 感染者・エイズ患者新規報告数(2022 年～2024 年)

	2022 年	2023 年	2024 年
HIV 感染者(人)	1	1	1
エイズ患者(人)	3	1	1
新規報告数合計(人)	4	2	2

国勢調査人口(直近): 724691(人) 岡山市

HIV 検査種別検査件数・陽性件数(2022 年～2024 年)

	2022 年	2023 年	2024 年
平日検査件数(件)	80	263	278
うち陽性件数(件)	0	0	0
夜間検査件数(件)	65	73	78
うち陽性件数(件)	0	0	0
休日検査件数(件)	0	0	0
うち陽性件数(件)	0	0	0
迅速検査件数(件)	65(再掲)	73(再掲)	78(再掲)
うち陽性件数(件)	0	0	1
郵送検査件数(件)	0	0	0
うち陽性件数(件)	0	0	0

エイズ対策に係る計画 策定の有無 …… 有 ・ 無

※有であれば直近に策定された計画の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません。

県に準ずる形で、県と協働で実施。

エイズ対策推進協議会 開催の有無 …… 有 ・ 無

※有であれば直近で開催された協議会の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません

県に準ずる。

【モニタリング項目 2】

普及啓発および教育についての課題と対応策

(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

(1) 青少年への教育・普及啓発

エイズ・性感染症(STI)についての正しい知識の普及を図り、感染のまん延を防止すると共に、無用の不安や誤解に基づく差別を解消することを目的として以下の事業を実施

【岡山市エイズ・性感染症(STI)出前講座】

団体に向けてエイズ・性感染症について講座を実施(講師派遣)年間80回分
主に小中高校専門大学等の団体等が対象。

(2) MSM への対応

検査機会や HIV に関する知識の普及啓発が必要。

【普及啓発】

県下で MSM の商業施設内の HIV・STD 感染症予防啓発団体を通じてアプローチを実施。

・県、倉敷市、岡山市の持ちまわりで啓発資材を団体へ持ち込み、県内の MSM 商業施設へ配置を依頼。また、併せて情報提供を実施。岡山市は啓発資材の中に HIV に関するミニパンフレットやコンドーム、検査普及カードをセットにしたものを配布。

・県・倉敷市・岡山市の持ち回りでレインボーイベントへの資材提供(エイズ予防普及啓発物品)

検査相談体制についての課題と対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

【外国人の検査利用者増加】

国際課の通訳を依頼、通訳タブレットを使用するなどして対応

問診票、結果告知書、説明などの文書を英語・中国語などに翻訳したものを用意。

【ネット予約利用者の増加に伴う、当日連絡なしキャンセルの増加】

・令和 5 年 12 月～夜間のネット予約、令和 6 年 5 月～日中検査のネット予約枠開始。
(対応策)

予約開始日の日程調整(2週間前)

メールの予約画面通知に予約日や予約時間が分かるよう記載

医療提供体制について課題と対応策

(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

【研修会】

・エイズ対策研修会(年1回)

趣旨:新規エイズ患者・HIV感染者は全国においては平成25(2013)年をピークに減少傾向にあるが、岡山県内でも、毎年、新規エイズ患者・HIV感染者が報告されている。今後も早期発見・治療につなげていく取り組みが必要であることから医療従事者を対象とした、検査の促進、早期発見と治療に関する最新情報を内容とした研修課を開催する。

岡山県・倉敷市・岡山市で合同開催。

別紙:研修案内

地域特有の課題とそれに対する対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

【モニタリング項目 3】

エイズ対策推進事業実績額(普及啓発および教育、医療提供体制の再構築)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください
(別添資料があれば添付でも構いません)

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
岡山市エイズ・性感染症 (STD)性教育出前講座	73 回	80 回	80 回

<普及啓発資材の作成>

検査普及啓発カード(2023 年度:5000 部、2022 年度:5000 部)

エイズデー用配布物品普及啓発用コンドーム(2023 年度:450 個)

特定感染症検査等事業実績額(保健所等における HIV 検査・相談事業)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください
(別添資料があれば添付でも構いません)

日中検査にて HIV と合わせて、希望者へ梅毒(H14～)、淋菌クラミジア(H14～)、肝炎の検査(H13～)を合わせて検査可能としている。

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
HIV	215 件	309 件	378 件
梅毒	209 件	308 件	374 件
淋菌	127 件	224 件	278 件
クラミジア	127 件	224 件	278 件
B 型肝炎	84 件	171 件	201 件
C 型肝炎	84 件	171 件	202 件

これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

・R8年度から検査機会の充実のため、HIV・梅毒の郵送検査実施を検討中。

エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

・HIV郵送検査予算について:保健所に即した現場としてやりやすくわかりやすい手引きがあるといい。郵送検査は検査者主の対応となり、陽性と出た場合の体制拡充への難しさがあり、現在も検討中。